

新年のご挨拶が遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。また、一昨日は長野電鉄不通に伴う休校への急遽のご対応、誠にありがとうございました。新聞報道によると、大雪が原因で不通になったのは2014年2月以来とのこと。「天災は忘れた頃にやってくる」の諺に学び、気を引き締め直して対応してまいります。今後ともお力添えの程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、13日間の年末年始休業を終え、子どもたちは元気いっぱいに登校してきました。その初日の朝、田中副校長先生が「副校長講話」の場に素敵なお客様を連れてきてくださいました。その様子を、田中副校長先生お手製の掲示物（校長室前廊下）から紹介します。



平成 29 年 1 月 10 日

## 副校長講話と重ねて

全校のみなさん、新年あけましておめでとうございます。

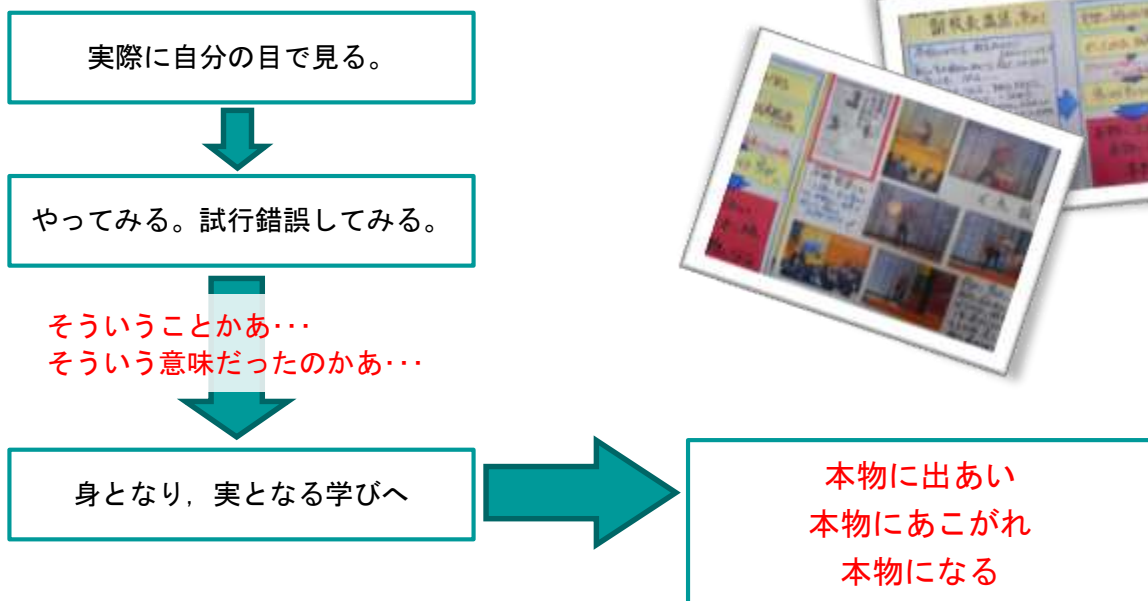
新しい年が始まるにあたり、私自身のことも重ねながら考えたことをひとつお話しします。それは・・・

人に「これは、こうだよ」「あれは、ああだよ」「これは、こういうものだよ」と言われても、なかなか飲みこめない、わからない自分が今までの生活の中でたくさんありました。時に人から「なんでこんなことわかんないんだよ」と言われたこともありました。

でも、わからないものはわからないのです。もっと言うと、「わかりたい」「僕だってわかりたい」のです。

そう思った時、ある友だちが「実は俺もわからねえ」と言ってくれました。なんて素敵なお言葉でしょう。

それからです、わからないのは尊いことだと思えるようになったのは。



## 中野 哲良(のりよし)さん

「一人芝居」をずっと続けてきた中野さんに出会ってほしくて、今日はお呼びしました！

太鼓



鳥さし舞まい



獅子舞



8年前に中野哲良さんが語った言葉です。

「何かを学びたい、成長したいという気持ち。相手と向きあい、自分とも向きあわなければならない時もある。でも逃げだしたくなる自分がある。そんな時、支えてくれる仲間がいる限り続けられる... そう思うのです。」

～子どもたちの感想より～

鳥のしばいは、鳥がいるみたいですごくむずかしそうでした。みんなもやってみたら「むずかしい」って言っていました。(2年生)

音がおおしくてびっくり！ 一人でやっているのに、動きで鳥が見えた。(2年生)

回ったり、足をかんだり、バーって伸びたり、おしりをかんだり、ミカンを食べたり。中野さんがやると、魔法でかわっちゃう。本物になる。(2年生)

中野さんは、喜びを体で伝えたいんだなあ(2年生)

げきにひきこまれるような不思議な感じもして、すごいと思いました。50代とは思えない。(4年生)

副校長先生の話の中で、本物を感じる(見る)ということがありました。私は、本物を見ることによって、それをやってみたくなると思いました。(4年生)

「ごんぎつね」のげきをみんなでやってみたくなりました。(4年生)